

しまねの自然


vol.48
平成31年3月

巻頭特集

しまねの自然公園満喫プロジェクト

National
Parks
of Japan

さあ出かけよう しまねの自然公園へ

三瓶山 ～大平山からの日の出～

島根県では、国内外からの来訪者に自然を満喫していただけるように、
地元関係者とともに「しまねの自然公園満喫プロジェクト」に取り組んでいます。

島根半島 東部地域

島根半島北側の海岸線は、日本海の荒波で浸食されたリアス式の変化に富んだ地形となっています。島根半島地域は、平成29年12月に、日本ジオパーク（島根半島・宍道湖中海ジオパーク）に認定されました。



桂島

磯と浜が広がり、海水浴場、キャンプ場、遊歩道が整備されています。砂浜での海水浴や磯釣りはもちろん、最近ではシーカヤックやサップなどのマリンスポーツを楽しむ人も増えています。



松江ビジターセンター

島根半島・宍道湖中海ジオパークを丸ごと学び楽しむ施設として、2018年春にオープン。ジオパークガイドの紹介もしています。



五本松公園

東部地域には、民謡「関乃五本松」の由来となる、五本松公園があり、ツツジの名所としても知られています。また、付近の地蔵崎には、「世界の歴史的灯台百選」、「恋する灯台」に選ばれた美保関灯台があります。

島根半島 西部地域



鷺浦

鷺浦には、美しい赤瓦の漁村の風景が残っています。日本らしさを感じる風情のある場所として海外からの旅行者もひきつけます。



経島

ウミネコの繁殖地として国の天然記念物に指定されています。11月上旬から7月頃まで数千羽のウミネコが飛び交います。また、毎年8月7日、「御幸神事夕日の祭り」が行われます。



出雲日御碕灯台

石積み灯台として日本一の高さを誇り、「世界の歴史的灯台百選」、「恋する灯台」にも選ばれ、明治36年から海の安全を守っています。灯台に登ると日本海を一望することができます。

三瓶山地域



三瓶山

標高1,126mの活火山で、火口である室の内の周囲に男三瓶、女三瓶、子三瓶、孫三瓶、大平山、日影山の6つの峰が連なります。裾野の北の原、西の原、東の原には、牛の放牧地や草原が広がり、浮布池や姫逃池とともに特徴のある草原風景をつくっています。西の原では、春に草原一面のススキを焼き払う「火入れ」が行われます。



室の内

三瓶山は、いくつかの峰が環状に連なっていますが、これらの峰に取り囲まれた中央の凹地が「室の内」です。この凹地は噴火口で、直径1km以上、約3600年前に形作られたと考えられています。

北の原キャンプ場

三瓶自然館に隣接し、豊かな自然の中で登山や森林浴など大人から子供まで楽しめるキャンプ場です。ドッグバンガローでは愛犬も一緒に泊られます。



隠岐地域

隠岐諸島はユネスコ世界ジオパークに認定されています。

ジオパークでは、目の前に広がる絶景や不思議な生態系、大地がどうやって生まれたか、人と自然はどうつながっているかを学ぶことができます。



浄土ヶ浦〈隠岐の島町〉

島後北東部の海岸は、風化、浸食によって様々に変化し、多彩な色や形の岩石からなる多数の島々が美しい景観をつくっています。国の名勝にも指定されている海岸は、一休和尚がここを訪れた時、「極楽のように美しい」とうたったことから、「浄土ヶ浦」と呼ばれるようになったといわれています。

西郷岬灯台〈隠岐の島町〉

隠岐の島町の南側、「岬の爆裂火口跡」の上であり、憩いの場となっています。灯台の周りの美化と、灯台を活用した観光促進に寄与したとして、島根県は「灯台の日」制定150周年記念で感謝状を受けました。



体験プログラム

島根県の魅力的な自然や文化を知ってもらえる体験プログラムが行われています。



隠岐地域

シーカヤック

隠岐の美しい海とダイナミックな海岸景観をあわせて満喫し、ユネスコ世界ジオパークの魅力を体感できます。初心者でも楽しめるものやガイドと一緒に洞窟に行くものなど、いくつかのコースがあります。

〈お問い合わせ先〉 隠岐観光協会 ☎08512-2-1577



島根半島 東部地域

サイクリング・ウォーキング

日本海と島根半島・宍道湖中海ジオパークの自然を満喫できるサイクリングです。

ウォーキングでは、地蔵崎をはじめとする観光名所と、季節ごとに異なる景色を見ながら楽しむことができます。

〈お問い合わせ先〉 松江観光協会美保関支部 ☎0852-73-9001



三瓶山地域

ヘルスツーリズム 三瓶山 健康ウォーク

大自然の中を歩いたり、西の原の草原で寝転んで外気浴をしたりなど…。三瓶山の清浄な空気と植生を楽しみながら、気候療法ウォーキング&リラクゼーションをしてみませんか。

〈お問い合わせ先〉 大田観光協会 ☎0854-88-9950



島根半島 西部地域

日御碕絶景観光ツアー

日御碕観光案内所～出雲日御碕灯台ほくりょうえん～柏陵園～経島～日御碕神社の1.5kmを90分かけてガイドと一緒に巡ります。夕景鑑賞ツアーもあります！

〈お問い合わせ先〉 出雲観光協会 ☎0853-53-2112

整備が進んでいます

より快適に大山隠岐国立公園をはじめとした島根県の自然公園を楽しんでいただくため、整備を進めています。



日御碕展望デッキ(イメージ)



地蔵崎遊歩道(イメージ)

PR映像を公開しています

ドローンを使い、4Kカメラを用いて撮影したこの映像は、色鮮やかなしまねの自然や、自然が奏でる音の魅力、自然を楽しむアクティビティを紹介しています。

しまね自然満喫



しまねの自然の魅力を **4K** 高画質映像で



安来市

月山富田城跡

月山富田城は、戦国時代に中国地方屈指の大名に成長した尼子氏の居城で、難攻不落の城として知られています。尼子氏ののち毛利氏、吉川氏の支配を経て、関ヶ原の戦いの後入城した堀尾吉晴が松江城を築いて本拠を移転したことにより廃城となるまでは、出雲・隠岐両国の中心地として栄えていました。



月山頂上



尼子経久像

中世山城の特徴がよく残っており、戦国時代屈指の山城として1934年には国の史跡に指定され、2006年には「日本100名城」に選ばれました。

現在は、2015年から5カ年計画で整備事業が進められています。この整備によって、登山道は登りやすく、城跡は分かりやすくなり、山頂部からの眺望もより楽しめるようになりました。県立自然公園にも指定されている月山。春にはサクラやツツジが咲き誇り、秋にはカエデが色づき、訪れる人を迎えてくれます。

昨年の9月23日(日)・24日(月)には、山城の魅力発信や保存活用を考える「全国山城サミット」が月山富田城跡を会場に開催され、パネルディスカッションや基調講演、現地見学会などの参加者でにぎわいました。

〈お問い合わせ先〉
安来市教育委員会 文化財課 ☎0854-23-3240

邑南町

自然の川で オオサンショウウオを 見つけよう!

瑞穂ハンザケ自然館は、オオサンショウウオの展示と飼育をしている学習施設で、全国でも珍しいオオサンショウウオの子供や赤ちゃんも見ることができます。

毎年夏(7~8月頃)になると、町内の川で『オオサンショウウオの観察会』を開催しています。日が暮れてから川に入り、行動が活発になった野生のオオサンショウウオを観察するというイベントです。川魚・カニ・カメ・カエルなど様々な生き物も観察することができます。

オオサンショウウオは国の特別天然記念物に指定(1952年)されていて、許可なく触ったりエサを与えたりしてはいけません。しかし、この観察会は特別な許可を得ているので、身長や体重を測ること



オオサンショウウオを探す!



オオサンショウウオを計る!

もできます。昨年は親子連れや学生など県内外から多くの参加がありました。

また、この時期は自然館の職員が生息地を案内する『オオサンショウウオのガイドツアー』も開催しています。

夏の気持ちの良い邑南町の川で、野生のオオサンショウウオと触れ合ってみませんか。



〈お問い合わせ先〉
瑞穂ハンザケ自然館
☎0855-83-0819

*観察会は事前申込みが必要です。
詳しくは自然館にお問い合わせください。

雲南市

「八重滝」自然観察会

八重滝で2018年11月、紅葉の自然観察会（主催：入間交流センター）を開催しました。当日は紅葉真っ盛りで、遠くは鳥取県や岡山県からも参加がありました。島根県森林インストラクターから、美しく色づく紅葉の仕組みや、似ているモミジの葉の見分け方などの説明を聞きながら散策。また、最近ではほとんど見られなくなったメグスリノキやコシアブ



ら、高地でしか見ることのできないブナノキなどの樹木を観察することができ、自然の豊かさを感じられる一日となりました。

八重滝は、龍頭が滝とともに県立自然公園、そして「日本の滝百選」に認定されています。約1.5kmの清流に、変化にとんだ8つの滝（下流より猿飛滝、滝尻滝、紅葉滝、河鹿滝、姥滝、姫滝、八塩滝、八汐滝）。中でも二段になって落下する八汐滝と八塩滝は水量も豊富で、見応えがあります。また、季節ごとに様々な種類の植物や生き物に出会え、特別天然記念物のオオサンショウウオとともに、ヤマメやイワナが生息しています。ウグイスやメジロなど美しい鳥のさえずりも聞こえてきます。

四季折々の景観が織りなされる八重滝で、ぜひ心地よい散策を楽しんでみてください。

〈お問い合わせ先〉
雲南市観光協会 ☎0854-42-9770

津和野町

安蔵寺山での自然観察会

西中国山地国定公園の安蔵寺山は独立した山としては県内最高峰で、ブナ・ミズナラなどの自然林が残ります。益田市匹見町・吉賀町・津和野町に接していて、それぞれのエリアから登山ルートが伸び縦走も楽しめます。

津和野町からのルートは2つあり、安蔵寺トンネルから気軽に登ることができるコースが人気です。奥谷から登るコースは、登山道へのアプローチ一面に広がるシダの森がおすすめです。また、ブナの原生林やその周辺では、ミヤマアジサイ・ヤマシャクヤク・キレンゲショウマ・キガンピなど貴重な植物を目にすることができます。毎年5月下旬に開催するブナ林自然観察会では、この奥谷エリアから尾根にかけてじっくりと観察します。



豊かな生物相をもつブナの森での観察会に、ぜひご参加ください。

〈お問い合わせ先〉
津和野町教育委員会（日原窓口）
☎0856-74-0302



ミヤマアジサイ

新任自然保護レンジャー研修会を開催しました!!



平成30年7月15日(日)、青少年の家サン・レイクと穴道湖自然館ゴビウスの2施設を会場に新任自然保護レンジャー研修会を開催しました。

研修会では、日本赤十字社の福田救急法指導員から、「安全な野外活動」を目指しての講義をしていただきました。まずは野外での自然解説からスタート!「サルスベリ」「エゴノキ」「トウカエデ」等々、いろいろな植物の特性やその植物にまつわるお話を交えながらの野外活動を楽しみました。

野外活動の後は屋内に戻り、講義&実習を行いました!!

福田指導員の実体験も含めた熱中症の症例や対応策。また、野外で遭遇し得る自然現象による危険や危険生物と出会った時の対応法など、色々な情報を交えながら講義をしていただきました。実習では、三角巾を使った止血方法や怪我をした際の手足の固定方法などを指導していただき、レンジャーさん同士で実際にやってみるなど、みなさん真剣に取り組んでおられました。

午後からは会場を穴道湖自然館ゴビウスに移し、ゴビウスの佐々木研究員より「穴道湖・中海の水辺の生きもの」について講義を受けた後、開催中の企画展を観覧しました。

短い研修ではありましたが、研修の中で身につけた知識がレンジャーさんそれぞれの活動の中で活かされることを願っています。



自然観察ガイド研修会を開催しました!!

平成31年1月19日(土)、穴道湖自然館ゴビウスを会場に、自然観察ガイド研修会を開催しました。

この研修会は、自然観察会を実施している方やこれから実施したいという方を対象に、自然保護の考え方や自然観察の手法を学び、自然観察ガイドとして活躍していただくための研修会です。

豊かな自然を守るためには、自然を大事にする人を増やし、自然を大事にする社会をつくる必要があります。そのはじまりが自然観察です。島根県自然環境課では自然観察ガイドのできる人材の育成に取り組んでいます。

今年度は「外来種」をテーマに開催しました。もともと日本には存在しなかった生きものが人為的に国内に持ち込まれ、生息数が著しく増加して生態系などに影響を与えているものが多く存在します。今回は身近な場所に生息・生育する「ミシシippアカミミガメ」「オオキンケイギク」に注目し、それぞれの専門分野の講



師に、特徴や影響、見分け方や駆除の方法、そして観察の視点などを教えていただきました。また、資料や実物を見ながら絵や見つけるポイント等を書き、実践に役立つ図鑑作りをしました。外来種について、理解を深めることができた充実した1日となりました。



平成30年度 自然保護関係表彰受賞者の紹介



■秋の褒章 藍綬褒章 自然保護功績

奥出雲町 藤原 政明さん

主に環境省自然公園指導員として、利用者に対する自然解説や適正利用についての指導に尽力。

■自然公園指導員 環境省自然環境局長表彰

美郷町 安田 亮さん

利用者への指導を行うとともに、遊歩道の巡視、自然観察会等の自然保護思想の普及啓発に尽力。

■「みどりの日」自然環境功労者 環境大臣表彰

大田市 静間町の名所・旧跡を守る会

ハマナスの保全活動を中心に、地元児童への自然保護思想の普及啓発活動に尽力。

■島根県各種功労者表彰 自然環境功労

出雲市 飯塚 隆さん

国立公園等において、利用指導、登山道等の整備、自然保護思想の普及啓発に尽力。

■地域環境保全功労者 環境大臣表彰

松江市 里山を育てる会

田和山の森を中心とした環境の保全、環境学習の支援、自然観察会の開催等の普及啓発に尽力。

■環境保全功労者に対する知事感謝状

吉賀町 大庭 次男さん

島根県自然保護レンジャーとして、自然公園等の巡視、マナー指導に尽力。

■自然公園関係功労者 環境大臣表彰

奥出雲町 佐佐木幸雄さん

自然公園指導員として、動植物の保護、自然公園利用者の適正な指導、登山道等の環境整備に尽力。

■環境保全功労者に対する知事感謝状

安来市 西谷川オオサンショウウオ繁殖地保護育成会

自然環境保全地域における管理団体として、巡視、歩道の整備、環境美化、保護啓発に尽力。

三瓶自然館

春の企画展

旅するいのち ～しまねと世界をむすぶ生きものたち

開催期間 2019年3月16日(土)～5月26日(日)

今 春、三瓶自然館では、私たちの身近なところに生息している、さまざまな「旅する生きもの」を紹介します。

「旅する生きもの」と聞いて、どのようなものを思いうかべますか？「渡り」をすることで知られている野鳥はもちろんのこと、昆虫や植物でも大移動する種類が島根県にもやってきました。また、島根の海にも世界の海とつながる広い分布域をもつ生きものが生息しています。そして、私たちの食卓にも、大海原を泳いで島根の海辺までたどり着く生きものが並んでいます。海から陸まで、さまざまな島根と世界をむすぶ生きものたちを剥製や標本、レプリカなどで紹介。

さらに命の危機に直面しながらも旅する理由、旅をする生きものたちに忍びよる絶滅の危機についても考えていきます。



アサギマダラ



アカショウビン(剥製)